



No. 4

令和7年
7月2日すずか幼稚園
第2すずかきしおか幼稚園

七夕(たなばた) 飾り付け

本園では、7月7日の「七夕」に合わせて、笹に見立てた大きな竹に子どもたちが自分たちで作った飾りや短冊を付けています。

本年度も第2すずかきしおか幼稚園の竹藪から通園バスの運転手さんが竹を切り出し、各園に届けてくれました。

当初予定していた6月24日(火)が雨天でしたので、27日(金)に延期して実施しました。

それぞれの園で飾りを付けていきますが、子どもたちは

「大きくなれますように」「願いが叶いますように」と願いながら、ちょうちんやスイカなどの七夕の飾りやお願い事が書かれた短冊を付けていきました。年長組は飾りを自分でつけることができますが、年少組や年年少組の子どもたちは自分の力だけではちょっと困難で、先生に手伝ってもらいながら飾りや短冊を付けていました。

飾り付けが終わった竹は、すずか幼稚園は昇降口のあるテラスの柱に、第2すずかきしおか幼稚園は玄関の柱に七夕(7月7日)が終わるまで立てておきます。

保護者の皆様も、送迎で園にお越しの際や、近くを通られた際には、きれいに飾り付けをした「大きな笹」を見ていただければと思います。



七夕に笹を飾る理由

七夕には笹に短冊や飾りをつるすけれど、そもそもなぜ笹に飾るのか？

その由来は明確にはされていないけど、笹は日本では古くから「神聖なもの」とされていること、また笹の葉には抗菌作用があることから、笹の葉にお供え物を置いたりと神事によく使われていること、また笹は天に向かって真っすぐ伸びることなどから、七夕の行事にも神聖な笹が使われたのではないかとされているよ。

願いを込めた短冊を神聖な笹につるして祈るって聞くと、七夕が少し神秘的な行事に思えてくるよね～。

(株式会社モンテローザのHPより)

群れの中で協力するということ

北極地方にジャコウウシというウシ科の動物がいる。アメリカのニクソン元大統領が、北京動物園にパンダのお返しとしてプレゼントをしたほどの珍獣で、残念ながらいま絶滅の危機に瀕しているのだが、この動物は、オオカミに対するその防御方法の特殊さでよく知られている。

どういう方法かというと、ジャコウウシは、額のところに非常に厚い角を持っていて、先端は非常に鋭くなっており、かつ、根元のほうは平べったくライフルの弾も通らないといわれるくらい鉄壁にのヘルメットになっている。わたしは、ロンドン動物園の分園のホイップスネード動物園で、その動物にアタックされて驚いたことがある。柵の外側にいたので私自身はもちろ



ん大丈夫だったが、ジャコウウシのほうも二百五十キロから三百キロほどもある体で、柵に激突しても平気だった。それくらい固い角を持っているのだ。

さすがのオオカミもこれには弱く、ジャコウウシに頭を低くして両足を踏んだってかまえられると、頭をねらって飛びかかるしかないのだが、下手をすると鋭い角に刺されてしまう。そこでジャコウウシの群れは、オオカミの群れに襲われると、妊娠しているメスと子どもを真ん中にして円陣を組む。そしてどこからオオカミが攻めてきても、そこを守っている若いオスなり成獣のメスが相手を倒す。こうして長い間種を守って生きてきたのである。

オオカミという敵を相手にしていき残ってきたジャコウウシの身の守り方は、そういう経験を通じて子どもに学習され、伝えられていっただろう。円陣をつくっているジャコウウシの中のどれか一頭が、オオカミがこわくて逃げだしたとしたら、あとは総崩れになってしまうに違いない。だからそれはしてはいけない。一頭が倒れて死んでも、また別のものがそこを埋めて、子どもだけは守るのだと、これは教育でも何でもなくて、親がそうしてきたから子どももそうするという、離乳後の学習なのである。

(元上野動物園長 中川志郎 著「パンダは舐(な)めて子を育てる」より抜粋)

一日禅語 見返りを期待しない

「ものをやる人」と「ものをもらう人」

「ものをやる人」と「ものをもらう人」では、どちらの人が、人間関係で苦しむだろうか。うっかりすると、「ものをもらう人」の方が、人間関係でチマチマ悩むことが多いと思ってしまうが、とんでもない。

いいものを、よく、くれる友だちがいると、実に気持ちがよい。しかし、「ものをやった人」は、どうしても、「あんなにいいものをやったのに、ろくろくありがとうもないわい」とか、「たまには、お返しをもってこい」とか、「やったものを、もっと、うまく使ってほしい」とか・・・。「ものをやった」のに。この「のに」があると、ちょっとしたことで、相手の態度が不満になる。

「無功德」。これはダルマ大師の禅語である。たとえ、友だちにいいことをしたり、いいものをあげても、あれもした、これもした、と恩に着せたり、鼻にかけたり、お礼をいわれたりしようとしなさい。まず、人にものをあげる余裕のあることに感謝せよ・・・と。人にしんせつをしても、ご利益は、求めない。

(心がスーッと晴れる 一日禅語 より)